
空の雫

さきと

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空の雫

【コード】

N3017D

【作者名】

ちきと

【あらすじ】

……私の涙……貴方の涙……降り注ぐ雨……

春、静々と降り注ぐ雨、桜木に残る花弁を濡らす雫。

この雨が止む頃には、桜の花も全て散り、春は終わりを告げる。

貴方との初めての出逢い。

その日もこんな雨だった。

そして、私はここにいる。

私達二人の始まりの場所。

幼い頃、手を差し延べてくれた貴方。

それが貴方との最初の記憶。

その時から、貴方は私に色々な幸せを教えてくれて、色々な幸せを
与えてくれた。

それから季節は流れ、何回目かの春。

大人になった私は今、この思い出の場所で貴方を待っている。

大事な話があるから、そう言った貴方、これが貴方との最後の記
憶。

そう。

貴方は私の前からいなくなってしまった。

突然の最後。

永久の別れ。

信じられなかった。

いや、信じたくなかった。

だから……。

この場所、約束の場所で貴方を待ち続けている。

貴方は来ない、そうわかっているのに、それでも待っている。

現実を認めたくないから？

理由は自分でもわからない。

でも……。

私には待つ事しか出来ないから。

だから待つのだ。

ずっと……。

でも、やっぱり貴方は来ない。

どれだけ時間が過ぎてても。

わかっていた。

わかっていたのに。

ぼろぼろと、涙は溢れて止まらないよ……。

貴方は来ない。

雨もまだ止まない。

こんな私の姿を見て貴方も泣いているの？

降り続く雨を見て、不意にそう思えた。

もしかしたら、この雨は貴方の涙？

泣いているの？

泣かないで。

私が泣いているから、貴方も泣くというのなら、泣くのを止めるから。

だから泣かないで。

それとも、私に大切な事を伝えられなかったから泣いているの？

大丈夫、貴方の気持ちは痛い程伝わったから。

だから泣かないで。

見上げれば、桜の木に余花が寂しく残されていた。

まるで、今の私の心を象徴するかのように

そして……。

上枝の隙間から降り注ぐ雨空に向かって、そっと手を伸ばす。
貴方を抱きしめるように、貴方に少しでも近づけるようにと……。

泣かないで。

私も泣かないから。

ほら、これは涙じゃなくて雨で濡れてるだけだから。

……ごめんね、やっぱりごまかせないね……。
涙を止めたいのに……止まらないよ……。

ごめんね……ごめんね……。

貴方は私にいつぱい幸せをくれたのに、私は何も返せなくて……ごめんね……。

どれだけ待っても貴方は来ない……わかってる……。

でも……やっぱり貴方に……。

もう一度……。

もう一度だけでいいから……。

「あいたいよ……。」

(後書き)

恋愛コーナーに置いたのですが、やっぱり詩っぽいので詩コーナーに引越しました(笑)。恋愛コーナーにいた時にも書きましたが、今回は前に自分が書いた『雫』を元に書いてみたものです。まあそんな感じです(笑)。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3017d/>

空の雫

2011年1月26日13時27分発行